



たいよう

子育て通信

平成28年 NO. 147

若葉が美しい季節になりました。

黄緑色の新芽はぐんぐん成長し、いつのまにか木々が青々と生い茂っています。またチョウチョやテントウムシなど、いろいろな生き物も元気よく活動していますね。命を育て、私たちにたくさんの恵みをもたらす自然の働きは、偉大だなあと思います。

しかし一方では、大自然はとてつもなく恐ろしい形相を見せることもあります。どうか1日も早く、熊本の地震がおさまりますように。何気なく過ごしていた日々の生活や、命というものが、どれほど大切なものかを改めて見つめ直してみたいものです。

子育てプラザでも熊本地震の募金活動を行い、皆さんからの温かい気持ちと一緒に、神戸新聞社を通してお届けしました。

東加古川子育てプラザ

TEL 423-5517

加古川駅南子育てプラザ

TEL 454-4189

♪子育てをハッピーに♪

～心がほっこり♥ステキなパパのお話～

ある朝、子育てプラザのスタッフがゴミステーションへ行く途中、向こうからRくんのパパもゴミを捨てにやってきました。よく見ると、パパは自宅からゴミステーションまで、道端に落ちているゴミを火箸で拾い、自分の家のゴミ袋に入れてからゴミを出していました。

スタッフが「おはようございます。朝早くからお疲れさまです」と声をかけるとパパは「いえいえ」と爽やかに微笑んでくれたそうです。このパパはよくお子さんを連れて子育てプラザにも遊びに来てくれます。こんな優しいパパの後ろ姿を見て育つRくん、これからの成長がとっても楽しみです♥





ズバツと解決Q&A

Q 部屋におもちゃを広げっぱなし。いつも片づける気がありません。毎回、「早く片づけなさい!」「大切にしないなら捨てちゃうよ」と言うのですが、最後は親が片付けることになってしまいます。どうすれば片づける習慣がつくのでしょうか。



やる気を育てていきましょう



A 小学校低学年ぐらいまでは、片づけの必要性がわからないし、片付いて気持ちがいい、という気持ちも育てておらず、「片づけなさい」と怒鳴ってもあまり効果はありません。「片づけると気持ちがいい」という感覚を育てながら、少しずつ習慣づけていくことが大切です。そのためにもまず環境を整えましょう。

①いつも使うおもちゃを減らす

子どもと相談して、よく使うおもちゃをおもちゃ箱に入れ、あまり使わないおもちゃは、箱などに入れてしまっておきましょう。

②子どもの片づけられる箱を用意

子どもが片づけやすいおもちゃ箱を用意。あまり細かすぎると難しいので、大まかに分類できる程度の箱や引き出し、棚などでOK。

③おもちゃを広げる範囲を決める

「子どもは散らかすもの」と思っても、イライラする時は、おもちゃを広げてもいい範囲を決めます。例えば自分の部屋なら部屋。リビングの敷物の上など。それ以外は広げないように約束しましょう。

④お片づけ時間を設定する

しっかり片付けるのは1日1回が限度でしょうから、夕ご飯の前に片づけるという約束をするのはどうでしょう。

⑤一緒にやる

まずは親がどう片づけるかお手本を見せ、子どもが興味を示したら「○○ちゃんは本を片づけてね」と役割を与え、できたら「ありがとう」と言います。一緒に部屋を眺めて「きれいになったね」

「気持ちいいね」と気持ちよさを味わいましょう。

こんなことを繰り返しながら、やる気を育てていきましょう。

肩の力をぬいて、ぼちぼちやっていきましょう。



東加古川子育てプラザでは、整理収納教育士による「あそんで学ぶおかたづけ講座」を開催しています。親子であそびを通して、楽しく学ぶ講座です。ぜひ参加してみてください。詳しくは、「広報かこがわ」の7月号・プラザのおたよりをご覧ください。

子どもに伝えよう！ 命の大切さ

花壇の花をちぎる、虫を踏みつぶして遊ぶ…こんな場面を見たことはありませんか？大人から見ると、とても残酷に思えることがあります。まだまだ善悪の判断がつかない子どもたちに、どのように命の大切さを伝えていけばいいでしょうか。

(1) 身近な動物や植物、虫や魚などの自然と触れ合う

お散歩すると、季節ごとに出会う草花や昆虫などの生き物、日差しや気温の変化に気づきます。自然の神秘性に目をみはる感性や、自然を愛する心を育むことは、命を大切にする学びにつながります。



(2) 生き物を飼い、育てる

ペットは人間よりも寿命が短く、子どもたちはペットの最期を看取ることになります。最後まで可愛がり一生懸命お世話をしてきたペットが、ある日突然いなくなる。「もう一度生き返ってほしい」と、どんなに願っても叶わない、その悲しみから命の大切さを学びます。また鈴虫やカブトムシをつがいで飼えば、翌年新たな命が生まれることも。世代がつながる不思議を学びながら、命の素晴らしさを実感できます。

(3) 毎日の食事、食べ物に感謝する

「いただきます」という言葉は、「あなたの命を頂いて私の命に代えさせて頂きます」という意味です。「大切な命をいただくありがたさ」をわかりやすく子どもに伝えましょう。



おすすめ絵本

「いのちのまつり ヌチヌグスージ」 作：草場一壽 サンマーク出版

「ねえ、おばあさん、ぼくのご先祖さまって何人いるの？」こうちゃんは指を折って数えてみることにしました。すると…あっと驚くような、びっくり仕掛けは、「いのち」の大切さをみんなに伝えていきます。

「ずーっとずっと だいすきだよ」 作：ハンス・ウィルヘルム 評論社

犬のエルフィーとぼくは大の仲良し。一緒に大きくなった。ある朝、目を覚ますと、エルフィーが死んでいた。深い悲しみにくれながらも、ぼくには1つ、なぐさめがあった。それは…愛する者との別れ、人や動物に愛を注ぐ心の大切さが伝わる絵本です。

ママに朗報!

託児サービスが始まります!

美容院へ行きたい、就職活動がしたい、趣味の時間がほしい…など、理由は何でもOK!輝くママを応援します。

どうぞお気軽にご利用ください。

【とき】 7月21日より毎週木曜日

13:30~16:00

【ところ】 東加古川子育てプラザ

【対象】 6ヶ月から就学前の子ども

【定員】 10名(先着順) 【託児料】 1000円

【申込み】 希望日1週間前の木曜日から前日までに、お電話にてお申し込みください。(423-5517)

毎日育児を頑張っておられるお母さん、たまにはリフレッシュしてくださいね♡



《潜在保育士就業支援講座》

【とき】 6月16・24・30日、7月7・14日(5回コース)

いずれも10:00~11:30

【ところ】 東加古川子育てプラザ他 【対象】 保育士資格をお持ちの方

【定員】 10名(先着順) ※託児あり(生後6ヶ月以上)

【内容】 講義、実技、実習 【受講料】 無料

【申込み】 6月6日9時から東加古川子育てプラザ(423-5517)

「やっぱり保育士がしたい!」と思っている人、応援します!

かんたんおやつ作り ♡プリンマフィン♡

(材料) (8号カップ5個分)

・市販のプリン1個(70g)・ホットケーキミックス70g・サラダ油20g

(作り方) ①ボウルにプリンを入れて泡立て器でよく混ぜ、なめらかにする。

②サラダ油を加えて、さらに混ぜる。

③ホットケーキミックスも入れてクリーム状になるまでよく混ぜる。

④カップに等分に入れ、180℃のオーブンで15分焼く。

⑤ふんわり膨らんで、楊枝を刺して生地がついてこなければできあがり。



☆きらりing編集室☆

加古川駅南子育てプラザの窓口にはカタツムリがいます。ほとんど動かない地味な生き物ですが、子どもたちには大人気!「こっちの、大きい!こっち、ちっちゃい!赤ちゃんかなあ?」「あ、ウンチしてる!なんで赤いの?(エサがニンジンの時)」「(卵の殻に入っているのを見て)ここから生まれたん?」など、興味津々で飼育箱を覗きこむ子どもたち。帰る時にはカタツムリさんにもバイバイ。その姿がとても愛おしいです。また東加古川子育てプラザの花壇はボランティアさんがお世話してくださり、きれいな花を咲かせてくださっています。ぜひプラザに見に来てくださいね♪

